

カトリックさいたま教区サポートセンター活動報告

活動報告 : URL http://saitama-kyoku.net/relief_centre/volunteer/

2012-06-10

■いわきサポートステーション「もみの木」 いわき市中央台高久

1. 設立・目的

震災直後、湯本教会司祭館(2011.4)を湯本ステーションとしてお借りし、物資支援・傾聴活動を行ってきた。いわき市高久の仮設住宅付近の UR 都市機構の案内所を「もみの木カフェ」として借り(2011.11.1)ログハウスが出来上がるまで、そこで傾聴活動を継続。昨年 12 月 23 日に湯本ステーションを閉所(2012.1.8)、いわきステーションログハウス開所、現在に至る。

「もみの木」が建つ場所は、周りに 10 棟 1200 戸の仮設住宅があり、津波災害だけでなく、原発事故で避難してきた榎葉町、双葉町の方々の入居する仮設が殆んど。

2. 活動内容

- 交流スペースの提供・・・地域住人のための憩いの場、カフェ、子どもたちの遊び場
- 文化活動スペースの提供・・・学習支援、編み物教室、折り紙、パンフラー、
デジカメ講習会、ライブコンサート、カレー教室など
- 祈りの集い・・・3・11 祈りの集い
- P.T.S.D 傾聴講習会・・・さいたま、茨城地区で実施(ウエイン神父 cap.ofm)残りの 2 地区も予定あり
- 傾聴活動・・・いわき市傾聴グループ「みみ」との協力、仮設訪問
- ボランティア・・・ 教区ボランティア延べ人数 250 名。65 グループを派遣 (現時点)
-殆んどさいたま教区の信徒だが、東京教区横浜教区からも参加。
-震災直後は、大阪教区岸和田地区が定期的に食事づくりボランティア。
P.T.S.D 傾聴講習会後は、茨城地区の三教会が毎週定期的に「もみの木」で 傾聴活動をおこなっている。修道会：ベタニア会、ビンセンシオ・パウロ会は、定期的に参加。
- 今後の活動予定・・・那須サマーキャンプ (① 7 月 30 日～8 月 1 日、② 8 月 3 日～5 日)
被災小学生対象の 2 泊 3 日のキャンプ・中学生対象沖縄キャンプ
室内コンサート、ライブ、フェスタなど。

3. 現状課題・展望

- ・常駐スタッフ三名、現地スタッフを三名の体制で「もみの木」運営にあたっていく。
- ・各仮設住宅棟も自治会長などの交代、住民の転出入があるので、もう一度人間関係の新しい関係を築いていく。見なし仮設や自治体ができていない仮設の訪問をおこなう。
- ・同じいわき地区に働く、聖公会・仏教ボランティアとの連携協働の必要性。
- ・傾聴ボランティアたちの活動後のスーパーバイズ、分かち合いをおこなう。

■その他の支援活動

- 宮城県亘理訪問支援・・・栃木県の教会信徒と司祭たちによる月に一回の支援活動、主に映画鑑賞。